



12 ハイコース散策

青森県立種差少年自然の家



○活動の概要○

野外に設置された3つのコースから選択して歩きます。自然の家周辺の雑木林などを散策しながら、樹木・虫・草花の観察をしたり、そこに生息する野生動物の足跡や痕跡を探したりします。

1 ねらい

自然散策をすることで、自然保護の大切さを学び、自然を尊ぶ心を育みます。また、動植物への興味関心を高めます。

(小学校 理科/道徳 中学校 理科/道徳)

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所・人数 自然の家ナイトハイコース(3コース)200人以内 (1グループ4-8人程度)
- ② 期間 通年
- ③ 時間 1～2時間

3 職員の支援について

物品貸出し時に職員がつきます。活動支援に入ることはありません。

4 準備物

区分	準備物	備考
団体	・緊急車両 ・観察カードなど	・各団体に準備してもらいます。
個人	・野外活動に適した服装 (長袖・長ズボン) ・タオル、軍手、帽子 ※必要に応じて雨具、虫よけスプレー、熊すず	
自然の家	★無線機 ・双眼鏡 ・フィールドスコープ ・アニマルトラッキング資料 (3. 森探検参照) ・見本の矢印看板 ・ビブス	★緊急連絡用として持っていただきます。 ・説明用 ・班長がつけます。 ★熊すずの数には限りがあります。
斡旋可能	特になし	

5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。 ・緊急時や戻るときに、無線機を使って自然の家まで連絡をする。
スタート&ゴール係	・スタート&ゴールのチェックを行う。
安全確保係	・コースの迷いそうな分岐点で安全確保にあたる。★絶対に他の人を驚かさない。
救護係	・緊急時の救護、搬送にあたる。

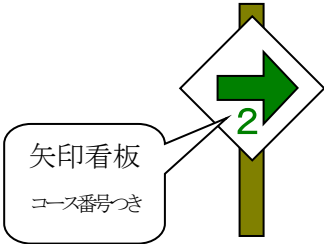
6 活動の流れ

- ① 活動説明 (代表責任者)
- ② グループごとに2～5分程度間隔をあけてスタート。樹木・虫・草花・痕跡を探す
- ③ ゴール
- ④ まとめ

7 その他

- ・ 必ず実地踏査をしてください。
- ・ 雨天後に行う場合、コースの状態を事前に確認してください。特に、コース内は雨天後に滑りやすい坂道がありますので、十分に注意してください。
- ・ 発達段階を十分に考慮して行い、子どもたちに自然の楽しさを味わわせるよう配慮してください。
- ・ 住宅地を通るコースもあります。走ったりふざけたりしないように指導をしてください。
- ・ 参加者を驚かしたり恐怖心をあたえたりするような行為は、森の動物たちを刺激してしまいます。参加者が驚いて走って転び、けがをする危険もあります。参加者はもちろん、引率者も「自然を体験する活動」であることを十分に認識して、実施してください。
- ・ 活動中は引率者間の連絡を密にし、安全と事故防止に努めてください。
- ・ 常設コース以外で行う場合はご相談ください。

《資料1》ハイク散策のやり方

流れ	内 容
説 明 (20分)	○班編成 ○服装の点検 ○健康状態の観察 ○ビブスをつける ○虫対策 1 ハイクコース散策のやり方、矢印看板の説明 (3コースあり。別紙コース図参照。コースごとに色分けした矢印看板を設置。) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> コース1 (黄色矢印) …全長約1km コース2 (緑色矢印) …全長約2km コース3 (赤色矢印) …全長約2km </div>  2 安全確保係は、所定の位置に 3 諸注意 <ul style="list-style-type: none"> ・ 周りにはキツネやリス、ウサギなどがいる。ハイク散策は動物たちの場所に少しだけおじゃまする活動で、自然の気配を感じる活動である。 ・ <u>走らない。驚かさない。必要以上に怖がらない。騒がない。</u>
活 動 (40～80分)	1 スタート準備 <ul style="list-style-type: none"> ・ グループごとに人員確認 ・ 持ち物の点検 2 スタート <ul style="list-style-type: none"> ・ 2～5分間隔で出発させる。 ・ 参加者を掌握し、安全と事故防止に十分注意する。活動中は安全確保係を中心に、コースでの安全確保に努める。 3 ゴール <ul style="list-style-type: none"> ・ 人数を確認。 ・ ゴール後の指示をする。(ビブス回収、汗の始末、休憩など)
まとめ (20分)	ふりかえり <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者の健康状態のチェック。 ・ 感想発表。 ・ 用具の後始末。